報道関係各位

令和８年６月19日
置賜建設　株式会社
国土交通省 山形河川国道事務所

未来の堤防管理をもっと安全に・スマートに！

DX 技術を活用した「堤防除草」の試行を行います

■ **研修会の日時及び会場**

日時：　**６月２４日（水）10:30 ～ 14:30**
会場：　山形県東置賜郡高畠町大字夏茂地先
（※詳細は別紙１参照）
主催：　置賜建設（株）



１．研修会の内容

「自律走行型大型除草機」及び「３次元展開図を用いたＧＮＳＳ出来形計測」について

① 10:30 ～ 12:00　「座学」
② 13:00 ～ 14:30　「自律走行型大型除草機等のテスト走行及び出来形計測の実演」

２．経緯と目的

現在施工中の「最上川上流米沢地区河川維持工事」において、弊社では土木業界での担い手不足への対応及び生産性向上を目的とした、省人化、省力化の取組を行っております。その中の一つとして、「自律走行型大型除草機」および「３次元展開図を用いたGNSS※１出来形計測」に関する研修会を開催することとなりました。

本研修会の目的は、当該技術を現場で活用するにあたってのメリット・デメリットを発注者と受注者で共有し、未来の河川維持管理への実用化に向けた活用方法を検討することとしています。

※1：ＧＮＳＳとは、全球測位衛星システム（Global Navigation Satellite System の略）の総称で、人工衛星から発信される電波を利用して、地球上の現在位置を測定する世界各国の衛星測位システムのことです。

３．研修の参加機関

東北地方整備局（本局）、東北技術事務所、山形河川国道事務所

４．研修の協力企業

金杉建設（株）（関東地方整備局ＩＣＴアドバイザー）
（株）モア・オートメーション（販売元）、（株）アクティブ・ソリューション（開発・サポート）

５．その他

・取材は随時受け付けますが、前日までに下記問い合わせ先へご連絡願います。
・受付は当日１０時までに会場へお越しください。
・当日の天候や河川の状況で日程が変更となる場合があります。

〈発表記者会〉 山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ

問い合わせ先



置賜建設　株式会社（山形県米沢市花沢 387 番１号）
電話　0238-23-6411　土木部長　金子（かねこ）　彰（あきら）
東北地方整備局　山形河川国道事務所　置賜流域治水出張所
電話　0238-88-2310　出張所長　松田（まつだ）　宏一（こういち）

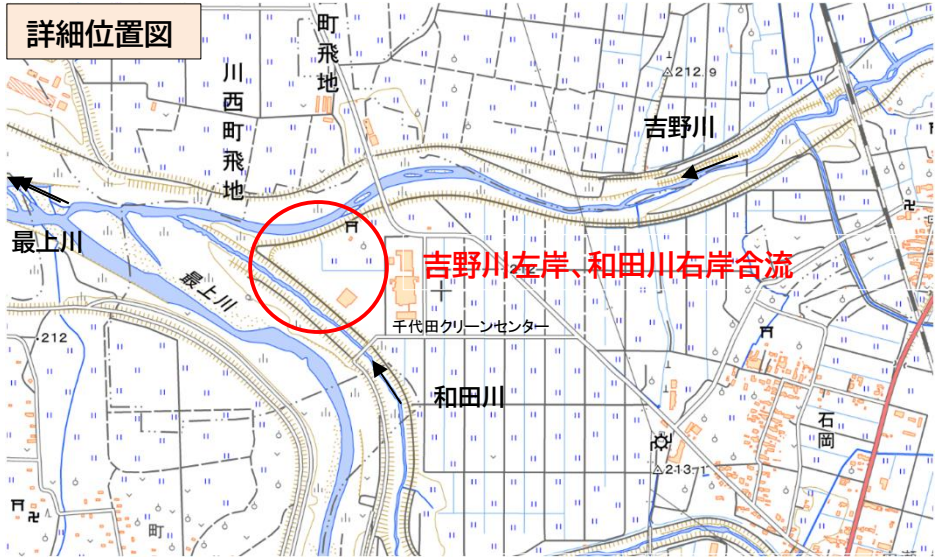
国土交通省

別紙1

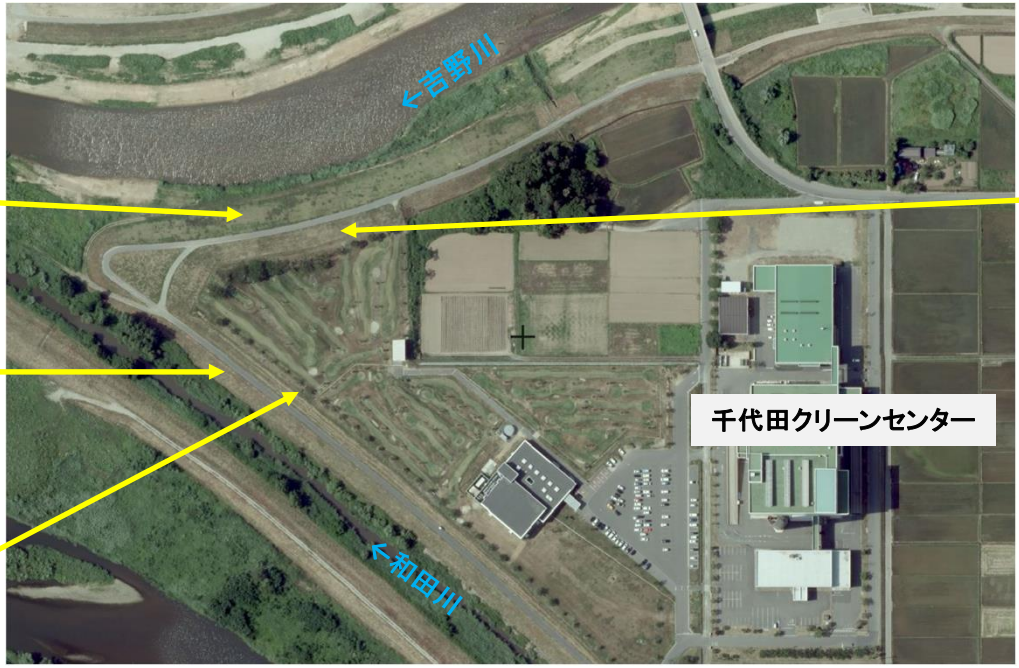
自律式草刈機及びGNSSによる出来高管理に関する技術研修会 会場位置図

◆ GoogleマップURL
https://maps.app.goo.gl/fvDdW4RPnV2JtodC7





出典：地理院地図に河川名等を追記して掲載



i-Constructionの推進と現場のDX化について

【目 的】：生産性を目的とした、省人化・省力化として自律式大型除草機の導入や、点群データとGNSSを活用した除草面積の算出や出来形管理を取り入れ、作業員の高齢化や担い手不足への対応を図りたい。

自動式大型除草機の導入

（1）各自な走行経路
GNSSの位置情報から除草エリアを作成し正確な走行ルート維持を実現できる

（2）施工の効率化
作業員の能力差や休憩時間などを考慮する必要がない点を考慮すると、トータル作業時間の縮減が期待できる

（3）安全性の向上
カメラで人を検知するとAIが自動で停止しする。
また、設定したエリア内を正確に走行するため支障物を避ければ安全に作業できる。



※最大登坂勾配55°（度）

機種情報
・メーカー：マッコネル社（イギリス制）
・機種名：大型ラジコン式高性能草刈機
「ROBOCUT」ロボカット
・装備品：本体改造無し
機器収納ボックスとセンサー類を別途装着

ＧＮＳＳの活用

（1）作業時時間の短縮
従来はテープ等による人力測量で対応。GNSSローバーと点群データを活用し効率化と精度向上を実現できる

（2）面積算出の客観性向上
GNSSにより座標管理することで、再現性のある面積算出（３次元）が可能となり数量の信頼性が向上します

（3）出来形管理の精度向上
GNSSにより座標管理することで、再現性のある面積算出が可能となり数量の信頼性が向上します

従来での計測状況　GNSSによる座標計測　３次元展開図

